

夜になると、玄関やリビングの窓から温かみのある光が洩れてくる。樹木の成長とともに変化する庭も暮らしを豊かに彩ってくれる。



**中道 哲也** 1963年御坊市生まれ。1989年設計事務所勤務後、中道建築設計事務所設立。1992年有限会社サンクリエーションを共同で設立。2004年デザインオフィス・スタジオパートナーズ設立。2011年和歌山事務所設立。同年株式会社スタジオパートナーズに法人化。

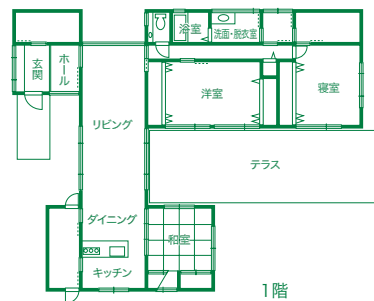


### 自由な発想で家づくり

家はデザインだけでなく、敷地や構造、コストなど多様なアングルから建て主、施工業者、建築家の三位一体でつくるものです。家づくりには最低限のルールがありますが、既成概念に縛られず、住まい手が希望する生活を実現するための方策を探り、実現していくのが私流。決して敷居は高くないので、気軽にお訪ください。



リビングからダイニングキッチンを見渡す。隣接して広いパントリーを設けたおかげで、キッチンはシンプルかつ機能的な空間に。



### KAMITONDACHOU HIRAYA NO IE

- 所在地/西牟婁郡上富田町●家族構成/夫婦●敷地面積/615.29㎡(186.12坪)●延床面積/166.45㎡(50.35坪)
- 用途地域/無指定地域●建ぺい率/60%●容積率/200%
- 構造・工法/木造軸組工法●竣工/2015年2月
- 本体工事費/約38,000,000円●施工/株式会社田中組

## 上富田町・平屋の家

### 中庭と室内空間が一体化した 深いチョコレート色の平屋住宅

text\_橋長 初代 photo\_今西 浩文



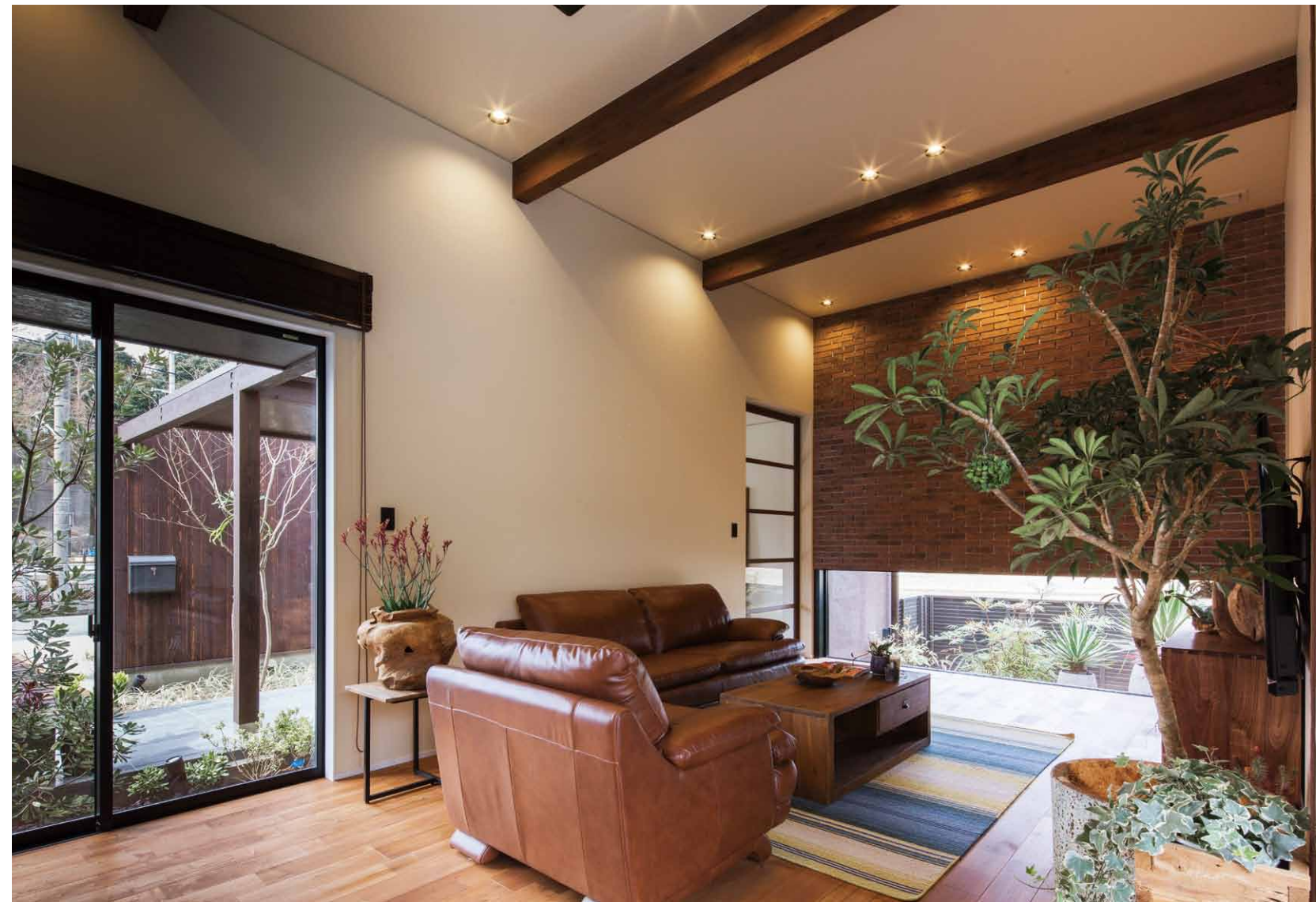
右/背後には小高い山と広い農地が広がり、チョコレート色の平屋が自然の中にうまく溶け込んでいる。外壁は左官仕上げ。  
左/子どもが帰省したときに使えるようダイニングの隣に和室を配置。床の間と地窓が空間に広がりをもたせている。

**南** 紀白浜に近い上富田町の自然に恵まれた土地に建つ、ご夫婦で暮らす木造平屋住宅です。以前、奥さんの友人に依頼されて平屋の家を建てたことがあり、その方からの紹介でした。敷地面積が186坪と広いので「駐車場を広く確保し、庭を生かしたゆつたりした平屋にしたい」というのが、第一の希望でした。また、奥さんは料理を趣味にされていて、休日に友人らを招いてテラスでバーベキューを楽しむみたいという要望もありました。

まず、背後に小高い丘と広い農地が広がる周辺環境を生かし、自然と調和する深いチョコレート色の家を提案。ご夫婦が自分らしい暮らしを楽しめるよう「独立した各部屋が広いテラスを介してゆるやかにつながり、光と風を十分に取り込める住まい」をプランしました。そのポイントとなるのが広い庭を生かした間取り。夫婦室、洋室、リビングダイニング、和室の全室がテラスに面して大きく開口し、庭と室内空間が一体化して住まい全体に空気が循環する間取りになっています。

住まい手だけでなくゲストも、リビングの地窓や掃き出し窓、玄関までのアプローチなどで緑を楽しめ、自然に癒されます。料理が得意な奥さんのためにキッチンに併設して2坪ほどの大きなパントリーを設置。大量の食品をストックできるので、ゲストをもてなす日にも重宝されることでしょう。

キッチンの床や壁にタイル、リビングの壁面にはレンガタイルと、適材適所の素材をバランスよく組み込み、上質でスタイリッシュなインテリアに仕上げました。



玄関ホールの扉を開くと、高い天井と大きな掃き出し窓が印象的なリビングが広がる。ソファの位置からも庭を望めるのがポイント。